

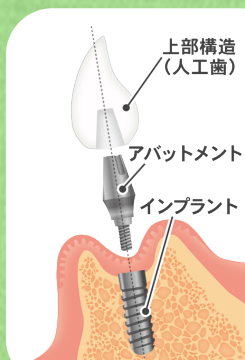
あさか外来通信

H29.3月号

インプラントを
長持ちさせるために



インプラントの仕組み



インプラントの「人工歯」は、「インプラント体」という金属の歯の根と、その上の「アバットメント」という人工歯を固定する金属で支えられています。顎の骨に埋め込まれしっかり固定されている為、自分の歯とほとんど同じ感覚で使うことができます。



インプラントは人工物だから、虫歯になりませんよね？ずっと使い続けることができますか？

インプラントは虫歯にはなりませんし、一般的には成功率の高い手術だと言われています。ですが、患者様のお口の中の状態によっては「**歯周病**」にはなります。ずっと使い続けることができるかどうかは、患者様次第となります！



インプラントに生じる歯周病のことを「**インプラント周囲炎**」といいます。

インプラント周囲炎は進行すると、インプラントを支える骨を溶かしてしまいます。支える骨が無くなってくると、インプラントはグラグラ揺れてきて、最悪抜けてしまったり、摘出しなければいけなくなります。無くなってしまった骨は元に戻りませんので、その部分にはもうインプラントを埋め込むことが出来なくなる可能性があります。



インプラント周囲炎の主な原因は

- ◆ 歯磨き不足
- ◆ 喫煙
- ◆ 歯周疾患の既往歴 です！



インプラント周囲炎予防のためには、定期的なインプラントドッグとお掃除で「**口腔内の清潔を保つ**」こと「**問題を早期発見する**」ことが1番大切です！



お口のお掃除だけでは炎症が治まらない場合

インプラント周囲炎になっても、ある程度インプラントと骨が結合し、確立していれば、「**レーザー治療**」によって治すことが可能です。当院では Er:YAG (エルビウム：ヤグ) レーザーを使って殺菌し、炎症を抑えます。それでも効果がみられない場合は、外科治療が必要になる場合がございます。



正しいメンテナンスでインプラントの寿命が決まります。

過去の外来通信・医院についてはこちら

浅賀歯科医院

